

# ノリ海況速報 第10報 (2022-10)

令和5年2月16日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 2/6：内湾（ふさなみ）、内房（ふさなみ）

## 【水温・塩分の状況】

- 表層水温は内湾北部が8.3~8.8℃、盤洲周辺が9.2~10.4℃、富津周辺が10.3~16.8℃でした。表層塩分は内湾北部が31.6~31.9、盤洲周辺が32.1~32.8、富津周辺が32.6~34.5でした。
- 富津岬南側のノリ漁場で引き続き、沖合水（高温、高塩分）の波及がみられました（図1, 2）。

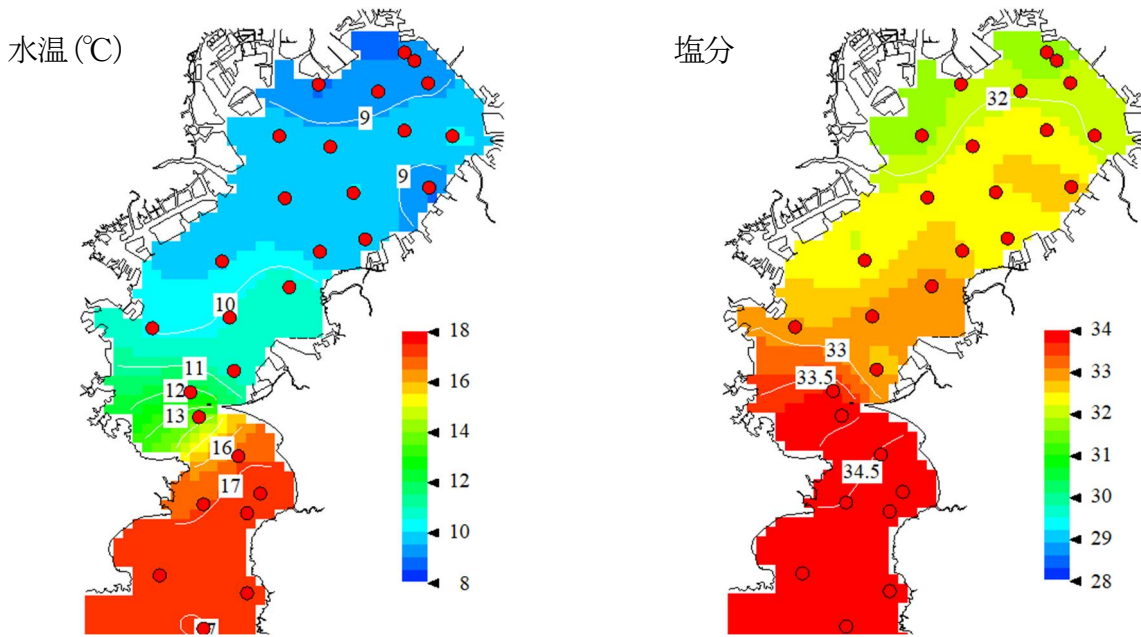


図1 表層の水温・塩分

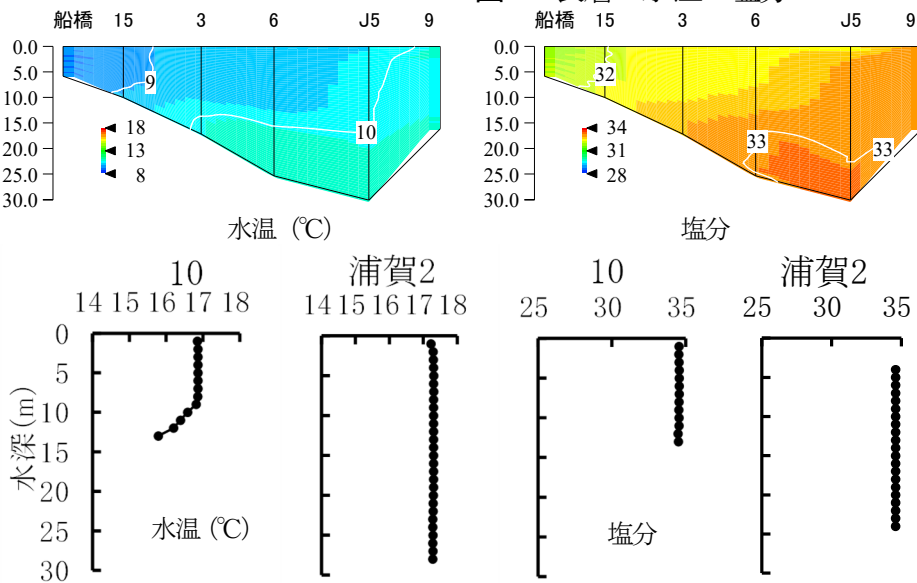


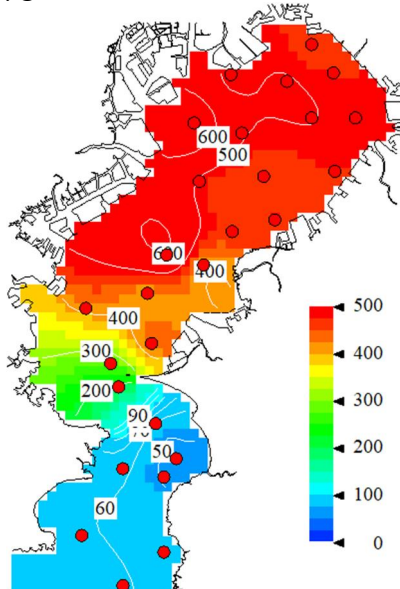
図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布  
 上：内湾，下：内房北部，右：調査ライン大型

## 【 赤潮・栄養塩の状況 】

- ・ 内湾の全域で珪藻の発生がやや多くみられるようになり、内湾北部で特に多くなっていました。透明度は4.0～12.0 m でした。
- ・ プランクトンの優占種は、小型珪藻のスケルトネマ属、キートセロス属などでした。内湾北部で大型珪藻のユーカンピア属が増加しています。
- ・ ノリ漁場付近の栄養塩は、窒素が内湾北部で456～508 μg/L、盤洲周辺で411～474 μg/L、富津周辺で56～433 μg/L、リンが内湾北部で5 μg/L以下～11 μg/L、盤洲周辺で12～21 μg/L、富津周辺で7～23 μg/L でした (図3)。
- ・ ノリ漁場の栄養塩は窒素が富津岬南側の一部、リンが内湾北部の一部でノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベルを下回っていました。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上，透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上		
高色調のノリの生産に必要なレベル：	窒素 110 μg/L	リン 8 μg/L
ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：	窒素 90 μg/L	リン 5 μg/L

(DIN, μg/L)



(DIP, μg/L)

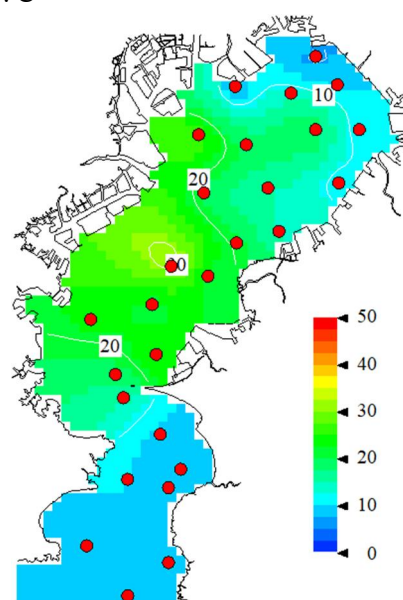


図3 表層の栄養塩濃度の分布

### ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場（三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南）について、5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

### 東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報、赤潮発生を目安（人工衛星画像）、各地の水温変化（モニタリングポスト）、沖合水の侵入を目安（潮位）、水温変化を目安（表層水温、底層水温分布）などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

パソコン：[http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯：[http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)

